



MIHARUKAS

みはるかす (※校歌の一節。遠くを見通す。・・未来を見つめる。)



【令和7年度スタート NEXT STAGE】

4月11日(木)、29名の新職員を迎え、赴任式・始業式を行いました。生徒達は、新しい出会いに緊張している様子でしたが、友だちとの久しぶりの会話に笑顔いっぱいの表情も見せていました。生徒たちの明るさと元気さで学校も活気を取り戻しています。始業式では生徒を代表して3名の生徒が新年度の決意を述べました。



生徒会長：知念咲希さん「私の今年度の目標は豊見城中学校を日本一挨拶のできる学校にすることです。私が去年、生活委員をしていたときにお世話になった亮彦先生から挨拶は人と人とのコミュニケーションの始まりだと教わりました。挨拶の可能性は無限大です。大切にすることで一人一人が自律し、それをきっかけに仲間と協働し、共に未来を創造する豊中生を目指しましょう。私達3年生はついに豊中の最高学年になり、豊中の顔



知念咲希さん

になります。夏には最後の夏季大会があります。後悔しないよう、日頃の練習で技術を磨き、大会では全力を出し切れるように頑張りましょう。そして1月には進路決定をしなければなりません。受験まで不安を残さないように、今まで以上に受験生という意識を持って過ごしていきましょう。2年生は明日から後輩ができます。学校生活でも部活動でも後輩を引っ張り、手本となる行動をしていきましょう。また、12月にある修学旅行に向けて、学級・学年で仲を深め、ルールやマナーを意識して行動していきましょう。生徒会執行部は、全校生徒と絆を深める生徒会を目標に活動しています。目標達成のため、8月の夏休みに、伊良波中学校、長嶺中学校、豊崎中学校の4中合同スポーツレク大会の開催を計画しています。4中学校の交流を深めるねらいがあります。また、9月には初めての他学年交流行事も開催したいと思っています、ご協力宜しくお願いします。その他にも5月には新しいクラスで初めての大きな行事となるスポレク大会が待っています。新入生を歓迎する気持ちで応援し、クラスの仲間と協働して各学級団結を深めていきましょう。

最後に、今年度も3つの豊中アクティブ、①あいさつ、返事、基本を大切に。②私語より発表。③ Watch the time を意識し、学校が心地良い場所であるためには何が必要なのか、自律・協働・創造する生徒を目指しましょう。」



3年生代表：外間美音さん「私は3年生に進級するにあたって、学校教育目標である「自律・協働・創造」の3つの観点からそれぞれの目標を立てました。自律の面では、「自分の目標を明確にし計画を立てて実行すること。」です。今年度は受検生になる年でもあるので、自分自身が行きたい高校を決め、合格を目指して努力していきたいです。そのためには、日々の授業を大切に、課題を期限内に提出すること、更に中学1年生の頃から学んできた学習内容の振り返りも計画的に進めるなど、より自分を律し積極的に学ぶことを大切にしていきたいと思いました。協働面では、「クラスや部活動での繋がりを強める。」という目標を立てました。3年生は、部としての最後の大会が近づいてきており、チーム内で団結する絆が必要になる大切な時期になってきます。～(略)～「今のメンバーで全力を尽くすことができた。」と思える。」ようにするためにも、部活動で仲間と共に過ごす時間を大切にしたいです。また、生徒会主催の行事やコンクールは全て楽しく、昨年度はクラスの皆と協力して取り組むことで沢山の思い出を作ることができました。この1年間も団結力を発揮して全力で楽しいんでいきましょう。創造の面からは「色々なことに挑戦する。」という目標を立てました。今年度、私達3年生には、人生最初の大きな選択が待っています。～(略)～



外間美音さん

将来、自分がどんな職業に就き、どういう大人になりたいのかを踏まえた上で自分の趣味や好きなものを見つけ、やりがいのあることを探す等、自分にとってより良い未来が創造できるように沢山のことに挑戦してみるべきだと思います。最後に私には3学年全体として取り組んでいきたい課題があります。それは、「3分前入室、2分前着席、1分前黙想」と「身なり」です。昨年度のプロ委員会では、特にこの二つが大きな課題としてあがっていました。この1年間は気持ちを引き締めて、一人一人が時計を見て行動し、誰かの呼びかけがなくても時間割に合った身なりを確認する等、課題を改善しようとする中で、自律面での成長そして、学年全体の取り組みが協働であり、豊中としての良き校風の創造に繋がっていくと思います。下級生のお手本になれるよう3年生全体で頑張っていきたいと思います。～(略)～ みんなで協力し、学校教育目標である「自律・協働・創造し未来を築く生徒」になれるよう、私達全員が一丸となって学校生活を過ごしていきましょう。」